

組立・施工上のご注意



注意

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。間違えて商品に過電圧を印加した場合、ランプ、商品の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因となります。
- 施工前に点灯チェックを行い、電源、商品に不具合がないか確認してください。
- 商品の取付面に凹凸がある場合、防水性を確保するための適切な処理をしてください。防水性に不備があると、商品内部に水や湿気が浸入する恐れがあります。
- 基礎工事は、給排水管などの地下埋設物に影響を与えないか確認してから施工してください。
- 凍上する可能性のある寒冷地で施工を行う場合は、必ず凍上線の下まで基礎位置を確保してください。
- 強い振動、衝撃のある場所へ施工しないでください。落下や破損の恐れがあります。

- 塩害地や湿気の多い場所では使用しないでください。部品の腐食や結露の原因となります。
- 風の強い場所には取り付けしないでください。落下や転倒の原因となります。
- 火気の近くには設置しないでください。近すぎると、火災、点灯不良などの原因となります。
- 光源の交換以外に、商品を改造したり、部品を追加、変更して使用しないでください。
- 施工終了後は、商品が正しく取り付けられているか確認してください。特にビスなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工終了後は、点灯チェックを行い、商品の汚れをきれいに取り除いて引き渡してください。

使用上のご注意



警告

- 商品を改造したり、部品を変更して使用しないでください。商品落下、感電、火災等の原因となります。
- ランプに水滴をかけたり、器具のすき間などに針金などを差し込まないでください。ランプの破損によるケガや感電、火災等の原因となります。
- 紙や布などを商品にかぶせたり、近くに置いたりして、使用しないでください。火災等の原因となります。



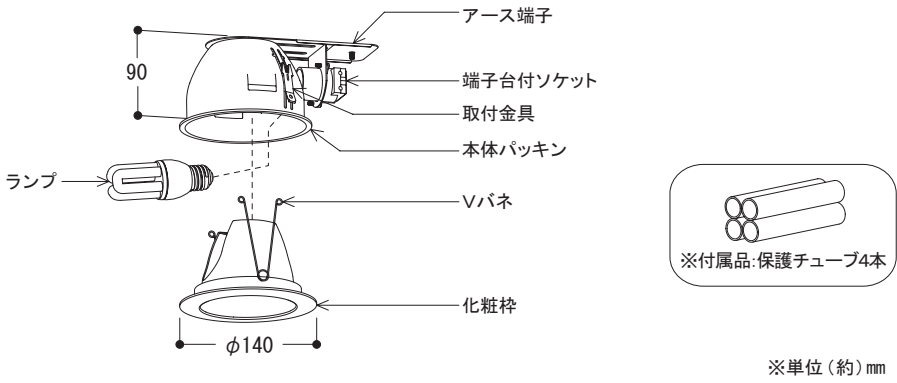
注意

- 農薬、殺虫剤、接着剤、有機溶剤などの化学薬品が付着しないようにしてください。商品が変形したり、変色したりする場合があります。
- 高温(40℃以上)になる場所で使わないでください。
- 商品にのったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。ケガをする危険性があります。また、ボールを投げつけるなど、破損につながる行為はしないでください。
- 点灯中および消灯直後は、ランプおよび商品が高温になっておりますので、手を触れないでください。ヤケドの原因となります。
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- ランプ交換の際は、必ず本体表示によるランプの種類、ワット(W)数の適合ランプをご使用ください。間違った種類のランプや適合ワット(W)数以上の不適合ランプをご使用の場合は、過熱による商品の変形、変色や火災の原因となります。

- 光源を交換する際は、必ず電源を切り、濡れた手で作業は絶対に行わないでください。また商品、光源が冷めてから作業を行い、点灯中や点灯直後の光源には触らないでください。感電や過熱によるヤケドの恐れがあります。
- 異常時は電源スイッチを切ってください。(煙がでたり、異臭がしたら、すぐスイッチを切ってください)

- ランプは水洗いしないでください。故障、感電の原因となります。
- 台風など激しい風雨が想定される場合には、あらかじめ電源を切ってください。また長期間使用しないときは、電源を切ってください。
- 電源コードが傷んだ状態では使用しないでください。
- 設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検、交換をおすすめします。
- 周辺温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- 商品が破損した場合は、すぐに電気工事店にご連絡ください。破損したまま使用していると事故の原因となり危険です。

1 商品寸法図

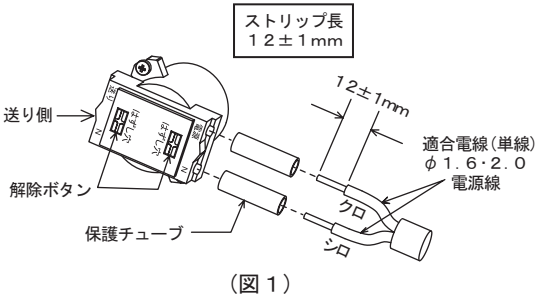


※単位(約)mm

2 施工方法

1 器具の埋込穴

1. 天井に埋込穴(φ12.5±2mm)をあけてください。
2. 取付前に器具重量に十分に耐えるよう、取付部の強度を確保してください。
※ロックウール等、柔らかい天井材に取り付ける場合には、必ず取付金具と天井の間に補強材を入れてください。
※取付可能天井厚は、5mm~25mmです。



2 本体天井取付方法

- (注) 取り付けに不備がありますと落下の原因となります。
1. アース線を用いてD種接地工事を施してください。(アース端子は器具上面です。)
 2. 電源線を、端子台に接続してください。接続は、(電源線の接続と抜きかた)を参照し、確実に行ってください。(図1参照)
 3. 本体を埋込穴に押し込み、取付金具を引き下げます。(図3参照)
器具は確実に取付けてください。
 4. ランプをソケットに確実に取り付けてください。
注) 適用ランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。

3 電源線の接続と抜きかた

- 端子台に電源線を結線します。結線は端子台のストリップゲージ12±1mmに合わせて電源線の被覆をむき同梱の保護チューブを取り付け奥まで差し込んでください。その際、電源線をねじったりしないでください。(図1参照)
- 電源線を抜く際は必ず電源を切り、解除ボタンをマイナスドライバーで押さえながら電源線を引き抜いてください。
- 注) 送り配線は照明器具専用としてください。
(送り容量6A以下)
- 注) 同梱の保護チューブは必ず電源線、送り配線に取り付けてください。
- 注) 器具本体に電源線を接触させないでください。感電、火災の原因となります。(図2参照)

